

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小谷産「黒にんにく」生産事業
事業主体 (連絡先)	小谷赤にんにく生産組合 代表 吉澤 信男 携帯 090-8813-2495 電話 0261-82-2232 (小谷村役場内)
事業区分	(6)産業振興・雇用拡大 (イ農業の振興と農山村づくり) (5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	405,669 円 (うち支援金: 324,000 円)

事業内容

①小谷村内において栽培されている「赤にんにく」の認知度を高めるため、新たな村特産品として赤にんにくを原材料とした「黒にんにく」の生産販売に取り組む。パッケージデザインやパンフ等を作成し、周知販促を行った。

②耐寒、対病に優れた作物であるが、村内生産者・生産量も少ない状況から新たな生産者、生産量の増加のための取り組みを行った。

- ・パッケージデザイン作成
- ・各種イベント参加によるPR
- ・新たな生産者への働きかけ



【黒にんにく完成しました】

【目標・ねらい】

- ①赤にんにくの周知PR
- ②赤にんにくを用いた特産品開発
- ③生産者・生産量の確保
- ④景観形成

事業効果

①村イベントや村内直売所などで販売したことで村民に対する認知度は上がった。

他類似商品との差別化を狙い、小谷村の黒にんにくのイメージしたネーミングやパッケージデザインとしたことで、インパクトのある商品となった。

②赤にんにくの新産拡大を目指し、村内の就農希望者へ対し「赤にんにく」栽培を提案し、翌年度からの栽培を予定している。

※自己評価【B】

【理由】

- ・村の新たな特産品として「黒にんにく」の生産販促を通じて、主に村民の皆さまに認知いただけた。
- ・にんにくの栽培を行うことにより農地維持や、新たな生産者による栽培も見込まれる。

今後の取り組み

・村民の皆さまには一定の認知をいただけたところであるが、ふるさと納税返礼品や学校給食への活用などは未達成であることから、継続して取り組みたい。また、一般的に「黒にんにく」は高価格であり、今回の小谷産「黒にんにく」も 100g あたり 1,000 円を超える価格での販売となった。アンケートにもあるとおり、高額だと買い控えするといった声も聞かれるため、生産コストの削減などを図る必要がある。・生産者や生産量の確保について、令和7年度から新たに作付けする者の目途が立ったこともあり、生産組合として継続して応援してゆきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある